



コロナ禍後の大学教育

—全国大学教員調査

大学経営・政策研究センター（東京大学 大学院教育学研究科）

<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>

2020 年 12 月

10分ほどで記入できます。是非ご回答ください。
集計結果は 2021 年 3 月ごろに上記 URL に掲載します

- この調査は、全国の大学の先生方がコロナ禍を経験して、その後の大学教育のあり方についてどのような考えをお持ちかを、お尋ねするものです。これによって大学人の中での議論に資することを目的としています。
- 回答は年明けの**1月22日（金）**までに郵送による発送、または、ウェブによる回答をお願いいたします。いただいた回答はすべて統計的に処理され、個人についての情報が他の目的で使われることは決してありません。集計結果は 2021 年 3 月頃に標記のウェブサイトに掲載する予定です。
- この調査は大学経営・政策研究センター（東京大学大学院教育学研究科）が科学研究費補助金を得て行うものです。センターのこれまでの調査とその結果については標記ウェブサイトをご覧ください。

ご回答は、①郵送、②ウェブ のいずれかで

① 郵送 による返送

- ・この紙のアンケート票にご記入頂き、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。切手は不要です。

② ウェブ で回答 （アンケート票の返送は必要ございません。）

- ・パソコンからは、ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に下記の URL を入力してください。

URL <https://www.net-research.jp/1055877/>

- ・スマートフォンやタブレットからは、右のQRコードからアクセスできます。



※ログインの際は、このアンケート票の右下に記載の「6桁の番号」を入力してください。

お問い合わせについて

- 調査全体（配布方法や調査期間など） についてのお問い合わせは、
全国大学教員調査 アンケート事務局
電話：0120-888-371 （担当者直通フリーダイヤル）
- ウェブの操作法についての問い合わせは、
ウェブ調査事務局 メールアドレス：support_crm59@macromill.com 担当：△△





今学期に担当されている授業についてお聞きします。

問1. 先生のご担当の専門分野は下のどれに区分されますか。(〇は1つ)

46.4 人文・社会・教育	22.7 理・工・農	24.7 医・歯・薬・健康関連	3.7 その他
------------------	---------------	--------------------	------------

問2. 先生が今学期に担当されている授業のコマ（一回90分程度）数は全部でどれくらいですか。

今学期の担当コマ数	平均 24.0 コマ
-----------	------------

その内訳をA～Cの授業形態別にご記入ください。

平均コマ数	学部				大学院
	講義 (50人以上)	講義 (50人未満)	演習・ゼミ・ 論文指導	実験・実習	
A. 主に対面	4.6	3.9	6.2	8.4	3.4
B. 遠隔（配信）	4.2	2.2	2.1	1.8	1.1
C. 遠隔（双方向）	3.6	2.4	3.7	2.2	2.4

問3. 一年は何学期制ですか。あてはまるものに〇を付けてください。(〇は1つ)

学期制	88.2 2学期制	1.3 3学期制	9.7 4学期制
-----	--------------	-------------	-------------

問4. 講義では、どのような科目を担当されていますか。(〇はいくつでも)

担当科目	23.6 一般教養	6.4 語学	15.6 自然科学 基礎	92.5 専門
------	--------------	-----------	--------------------	------------

問5. 今回のコロナ禍の前に、授業でウェブや授業管理システム（LMS）を使っておられましたか。(〇は1つずつ)

<a～bそれぞれ横に お答えください>	よく 使っていた	ある程度 使っていた	使って いなかった
a. ウェブ	19.7	20.5	58.0
b. 授業管理システム（LMS）	27.8	31.8	39.0

授業にオンラインを全く利用しておられない方は、5ページ 問13 へお進みください。

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 6. オンラインを利用した以下の機能は利用されていますか。(○は1つずつ)

＜a～i それぞれ横にお答えください＞	よく使う	時々使う	使わない
a. ウェブによる授業の配信	61.4	19.7	17.7
b. 授業教材、資料の授業管理ソフト(LMS)などへの掲示	78.2	15.4	5.8
c. チャット機能などを用いた授業中の質問	30.6	40.8	27.5
d. ブレーク機能などを用いた授業中のグループワーク	17.2	26.4	54.9
e. 学生の顔を表示させて反応を確認	14.2	36.1	48.4
f. メール、LMS などを通じた授業後の質問	50.6	42.0	6.4
g. 授業ごとの課題、小テスト	67.3	24.9	7.0
h. オンラインでの直接の指導	36.6	39.2	23.0
i. 授業ソフト、LMS を使った出席の確認	53.6	22.1	23.1

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 7. 遠隔授業については、どのような点で特に課題を感じますか。(○は1つずつ)

＜a～f それぞれ横にお答えください＞	問題はない	ある程度 課題	大きな課題
a. ソフトウェアの操作	45.6	45.9	7.6
b. 授業の準備などに伴う時間の確保	14.5	40.4	44.2
c. 授業の構成、方法、学生のひきつけ方	10.7	50.1	38.3
d. 課題の出し方、分量	18.2	57.6	23.4
e. 個々の学生の反応の把握・識別	5.6	36.6	57.1
f. 学生を授業に参加させるための授業運営	12.9	52.4	33.9

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 8. 授業管理ソフト (LMS) の以下のような機能は使っておられますか。(いくつでも○)

LMS の機能	89.8 教材の提示	63.2 出席の確認	86.3 レポートの提出	43.4 採点した課題・ 試験の返還	30.3 学生のweb 利用の把握	59.3 学生への アンケート
---------	---------------	---------------	-----------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 9. 講義 1 回の準備・復習として、学生が何時間程度を使うことを想定しておられますか。(○は1つ)

想定する 学習時間	18.9 特に想定 していない	51.6 1 時間	24.3 2 時間	4.6 3 時間以上
--------------	-----------------------	--------------	--------------	---------------

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 10. 対面授業と比べて、遠隔授業による学習状況をどう評価されますか、またどの程度把握できますか。
(○は1 つずつ)

< a～c それぞれ横にお答えください >	学生の学習状況			教員による把握		
	良くなった	変わらない	悪くなった	十分 できる	ある程度 できる	十分 できない
a. 授業中の集中度、反応	19.1	50.2	28.5	6.0	38.1	54.7
b. 授業前後の学習	32.1	56.5	9.6	14.9	58.8	25.0
c. 授業の達成目標の到達	17.7	59.6	21.0	14.5	64.0	20.2

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 11. 遠隔授業のメリットについて以下の点についてはどう考えられますか。(○は1 つずつ)

< a～f それぞれ横にお答えください >	そう思う	ある程度 そう思う	そう 思わない
a. 学生からの質問、コメントが多くなった	21.4	37.6	40.2
b. 学生が教材を事前に見ることを前提にして、授業ができる	25.6	45.4	28.1
c. 一回一回の授業について、内容、到達目標を意識する	22.8	47.5	28.6
d. 学生に課題を出すことに抵抗がなくなった	19.1	32.8	47.2
e. 授業の内容・方法の透明性が増した	25.6	41.7	31.7
f. 教室に行かなくても授業ができる	53.0	30.7	15.4

※回答ベース(n=2858・非該当と思われる 138 件を除く)

問 12. 遠隔授業の問題点として、以下のような点についてどう思われますか。(○は1 つずつ)

< a～f それぞれ横にお答えください >	そう思う	ある程度 そう思う	そう 思わない
a. 遠隔ソフトの利用に十分な情報・訓練・サポートが提供されていない	28.1	45.5	25.8
b. 情報基盤・コストのために、双方向通信などの機能を十分に利用できない	31.5	42.1	25.6
c. 単位認定、成績評価の信頼性に問題が生じる	27.8	37.9	33.6
d. 変化への対応で、教員による差が大きくなる	59.1	34.5	5.6
e. 教員の時間的負担が大きくなる	57.1	31.0	11.2
f. 授業に取り残される学生が生じている	30.1	45.7	23.4



中長期的な授業のあり方についてお聞きします。

問 13. 2021（令和 3）年度の、春の学期には授業をどのようにするべきとお考えですか。（○は 1 つずつ）

＜a～d それぞれ横にお答えください＞	できるだけ 対面にする	対面と遠隔 の混交	遠隔
a. 講義（50 人以上）	24.4	39.7	34.3
b. 講義（50 人未満）	46.6	38.3	13.9
c. 演習・ゼミ・論文指導	70.9	24.5	3.7
d. 実験実習	82.6	12.8	1.1

問 14. コロナ禍での授業での経験を、どのように活かすことができると考えられますか。（○は 1 つずつ）

＜a～f それぞれ横にお答えください＞	活用すべき	ある程度 活用すべき	必要ない
a. 毎回の授業で学生に一定の課題を与える	33.1	54.6	11.5
b. 毎回の授業予定を明確に計画し、学生に明示する	48.4	44.1	6.5
c. 授業のビデオを、授業後も視聴可能とする	37.6	41.2	20.5
d. 学生からの質問、コメントを授業ソフト、LMS などを通じて受け付ける	54.4	40.1	4.8
e. 授業について教員間で経験を交流し、協力する	44.5	48.9	5.9
f. 社会人向けの授業、国外で受講する外国人・日本人学生向けの授業	34.1	49.9	15.0

問 15. 遠隔授業を活用するための体制として、以下の点はすでに行われていますか、また必要ですか。（○は 1 つずつ）

＜a～c それぞれ横にお答えください＞	現状		必要か		
	行われて いる	行われて いない	非常に 必要	ある程度 必要	必要 ない
a. 学生の負担を調査し、授業の間の負担の調整をはかる	41.0	58.3	43.4	50.1	5.4
b. LMS などを用いて、学生の出席状況などを把握し、脱落のリスクの高い学生への対応をおこなう	61.5	37.8	49.1	45.1	4.8
c. ウェブを使った授業と、対面授業をくみあわせて一コマとする	42.5	56.7	22.4	52.5	23.9

問 16. 大学教育の改善の方向として、次のようなことを行っておられますか、また将来の方向として重要ですか。
(○は1つずつ)

<a～eそれぞれ横にお答えください>	行っているか			将来の方向として		
	力を入れている	ある程度	行っていない	非常に重要	ある程度重要	重要ではない
a. 修得すべき知識を標準化し、それに応じてカリキュラムを体系化する	29.3	58.2	11.7	44.0	48.2	6.6
b. 週2回の授業などを通じて、学生が個々の授業科目に集中できるようにする	9.6	33.6	55.3	16.8	50.5	30.7
c. 少人数の授業を増やすよりも、授業内容、教材などをなるべく標準化する	5.4	44.5	49.1	13.4	53.3	32.0
d. コミュニケーション能力など、授業で獲得するべき基礎能力を明確にする	27.4	57.9	13.7	46.9	45.5	6.1
e. 研究室、ゼミなどを通じて、教員や学生間の接触を強化する	48.8	44.9	5.4	62.3	34.6	1.7

問 17. 教育コンテンツの共同制作、相互利用についてどう思われますか。(○は1つずつ)

<a～cそれぞれ横にお答えください>	とても望ましい	望ましい	どちらともいえない	望ましくない
a. 教員間でコンテンツを作り、相互利用する	17.9	40.9	35.5	5.1
b. 専門分野に共通のコンテンツを作り、それをを用いた遠隔授業と対面授業をくみあわせる	16.7	41.5	34.9	6.3
c. 大学間連携によって、他大学の遠隔授業を受け、単位を認める	16.2	38.0	38.5	6.8

問 18. 以下のような点についてはどう思われますか。(○は1つずつ)

<a～gそれぞれ横にお答えください>	強くそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない
a. 潜在的なコロナのリスクがある限りは、教育にかかるコストを上げなければ十分な教育はできない	23.8	56.3	17.5	1.9
b. コロナ禍の緊張が緩めば、授業で課題を課すことが難しくなる	1.2	9.7	62.4	26.1
c. コロナ禍の経験を活かした授業にするには、授業の数を減らすことが不可欠	5.8	20.7	57.0	15.9
d. 遠隔技術にこだわると、授業の場での自発性・創造性が失われる	9.0	31.2	45.4	13.9
e. 学生が遠隔授業をうける場所・設備を大学に増設するべきだ	24.0	52.3	19.9	3.4
f. 当面は退学する学生が増える可能性がある	6.2	45.4	41.9	5.9
g. 遠隔授業をするなら、授業料は下げるべき	2.5	13.2	54.5	29.4



先生の大学と、ご自身についてうかがいます。

問 19. ご所属の大学についてお聞きします。(〇は1つずつ)

a. 設置別	20.2 国立	9.6 公立	70.2 私立
--------	-------------------	------------------	-------------------

b. 全学の学生数	15.1 1,000 人未満	29.2 1,000 人以上 3,000 人未満	26.6 3,000 人以上 8,000 人未満	28.7 8,000 人以上
-----------	--------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------

問 20. 先生の年齢、職階、任用形態についてご記入ください。(〇は1つずつ)

a. 年齢	9.5 20・30歳代	28.7 40歳代	39.8 50歳代	21.5 60歳代以上
-------	-----------------------	---------------------	---------------------	-----------------------

b. 職階	11.5 講師・助教	26.9 准教授	61.1 教授	0.1 その他
-------	----------------------	--------------------	-------------------	-------------------

c. 任期	86.9 任期なし	12.7 任期付き
-------	---------------------	---------------------

大学教育のありかた、大学教育についての政策、この調査などについて、ご意見を自由にご記入ください。
別紙に印字して、同封していただいても結構です。

調査項目はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問6. オンラインを利用した以下の機能は利用されていますか。(〇は1つずつ)

＜a～i それぞれ横にお答えください＞	よく使う	時々使う	使わない
a. ウェブによる授業の配信	58.6	18.8	16.9
b. 授業教材、資料の授業管理ソフト(LMS)などへの掲示	74.6	14.7	5.5
c. チャット機能などを用いた授業中の質問	29.2	38.9	26.2
d. ブレーク機能などを用いた授業中のグループワーク	16.4	25.2	52.3
e. 学生の顔を表示させて反応を確認	13.5	34.4	46.2
f. メール、LMS などを通じた授業後の質問	48.3	40.1	6.1
g. 授業ごとの課題、小テスト	64.2	23.8	6.7
h. オンラインでの直接の指導	34.9	37.4	21.9
i. 授業ソフト、LMS を使った出席の確認	51.2	21.1	22.0

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問7. 遠隔授業については、どのような点で特に課題を感じますか。(〇は1つずつ)

＜a～f それぞれ横にお答えください＞	問題はない	ある程度 課題	大きな課題
a. ソフトウェアの操作	43.5	43.8	7.2
b. 授業の準備などに伴う時間の確保	13.9	38.6	42.2
c. 授業の構成、方法、学生のひきつけ方	10.2	47.8	36.6
d. 課題の出し方、分量	17.4	54.9	22.3
e. 個々の学生の反応の把握・識別	5.3	34.9	54.5
f. 学生を授業に参加させるための授業運営	12.3	50.0	32.3

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問8. 授業管理ソフト (LMS) の以下のような機能は使っておられますか。(いくつでも〇)

LMS の機能	85.6 教材の提示	60.2 出席の確認	82.3 レポートの提出	41.4 採点した課題・ 試験の返還	28.9 学生のweb 利用の把握	56.5 学生への アンケート
---------	---------------	---------------	-----------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問9. 講義1回の準備・復習として、学生が何時間程度を使うことを想定しておられますか。(〇は1つ)

想定する 学習時間	18.0 特に想定 していない	49.2 1時間	23.2 2時間	4.4 3時間以上
--------------	-----------------------	-------------	-------------	--------------

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問 10. 対面授業と比べて、遠隔授業による学習状況をどう評価されますか、またどの程度把握できますか。
(○は1 つずつ)

< a～c それぞれ横にお答えください >	学生の学習状況			教員による把握		
	良くなった	変わらない	悪くなった	十分 できる	ある程度 できる	十分 できない
a. 授業中の集中度、反応	18.3	47.9	27.2	5.7	36.3	52.1
b. 授業前後の学習	30.6	53.9	9.2	14.2	56.1	23.8
c. 授業の達成目標の到達	16.9	56.8	20.0	13.8	61.0	19.3

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問 11. 遠隔授業のメリットについて以下の点についてはどう考えられますか。(○は1 つずつ)

< a～f それぞれ横にお答えください >	そう思う	ある程度 そう思う	そう 思わない
a. 学生からの質問、コメントが多くなった	20.5	35.8	38.3
b. 学生が教材を事前に見ることを前提にして、授業ができる	24.4	43.3	26.8
c. 一回一回の授業について、内容、到達目標を意識する	21.8	45.3	27.2
d. 学生に課題を出すことに抵抗がなくなった	18.2	31.2	45.0
e. 授業の内容・方法の透明性が増した	24.4	39.8	30.3
f. 教室に行かなくても授業ができる	50.6	29.3	14.7

※全数ベース (n=2996・非該当を含む)

問 12. 遠隔授業の問題点として、以下のような点についてどう思われますか。(○は1 つずつ)

< a～f それぞれ横にお答えください >	そう思う	ある程度 そう思う	そう 思わない
a. 遠隔ソフトの利用に十分な情報・訓練・サポートが提供されていない	26.8	43.4	24.6
b. 情報基盤・コストのために、双方向通信などの機能を十分に利用できない	30.1	40.2	24.5
c. 単位認定、成績評価の信頼性に問題が生じる	26.5	36.1	32.0
d. 変化への対応で、教員による差が大きくなる	56.3	32.9	5.4
e. 教員の時間的負担が大きくなる	54.5	29.5	10.7
f. 授業に取り残される学生が生じている	28.7	43.6	22.3